

- 1 武士が主従関係において、自分の仕える相手のことを何という？
① 主君 ② 將軍 ③ 幕府 ④ 家臣
- 2 13世紀に国号を元と定め、二度にわたり日本へ侵攻を企てたモンゴル帝国の皇帝は誰？
① チンギス・ハン ② モンケ ③ オゴデイ ④ フビライ
- 3 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？
① 唱題 ② 踊り念仏 ③ 座禅 ④ 念仏
- 4 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の命令を無視して年貢を奪い、実力行使によって抵抗した集団を何という？
① 海賊 ② 足輕 ③ 悪党 ④ 一揆勢
- 5 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた經典の名前は何という？
① 法華經 ② 阿弥陀經 ③ 般若心經 ④ 觀無量壽經
- 6 鎌倉時代に制定された、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた武士独自の法を何という？
① 大宝律令 ② 御成敗式目 ③ 建武式目 ④ 分国法
- 7 鎌倉時代、將軍に代わって幕府の実権を握り、代々その職を世襲した一族を何という？
① 源氏 ② 藤原氏 ③ 北条氏 ④ 平氏
- 8 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？
① 番役 ② 屯所 ③ 寄合 ④ 防塁
- 9 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
① 隨筆 ② 日記 ③ 物語 ④ 日記文學
- 10 鎌倉時代の將軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？
① 公地公民 ② 執權政治 ③ 主従関係 ④ 中央集權
- 11 鎌倉幕府において、將軍が御家人に本領を安堵したり新恩を給与したりすることと、御家人が軍役などを果たすことの結びつきを何という？
① 本領安堵 ② 御恩と奉公 ③ 新恩給与 ④ 年貢徴収
- 12 モンゴル帝国が中央アジアを征服し、世界規模で勢力を広げたのは何世紀？
① 12世紀 ② 14世紀 ③ 15世紀 ④ 13世紀
- 13 元寇の際、防衛のために石築地が築かれた現在の福岡県にある湾を何という？
① 博多湾 ② 壇ノ浦 ③ 鎌倉 ④ 大宰府
- 14 鎌倉時代の武士の間で広く行われていた、親の領地を子や女子などに分けて相続させる仕組みを何という？
① 単独相続 ② 長子相続 ③ 分割相続 ④ 永代相続
- 15 イタリア出身の旅行家で、フビライ・ハンに仕え、日本を『黄金の国ジパング』としてヨーロッパに紹介したのは誰？
① イブン・バットゥータ ② マルコ・ポーロ ③ マテオ・リッチ ④ ザビエル



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	主君 は、鎌倉幕府においては将軍であり、家臣である御家人に対して領地の保護（御恩）を保証する存在です。		1 主君	☐
2	第5代皇帝 フビライ ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。		4 フビライ	☐
3	「 踊り念仏 」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。		2 踊り念仏	☐
4	悪党 は、荘園領主や幕府の統制を無視して、力づくで年貢の徴収を妨害したり、所領をめぐる紛争を起こしたりした武装集団です。		3 悪党	☐
5	日蓮は、数ある經典の中で『 法華経 』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。		1 法華経	☐
6	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。		2 御成敗式目	☐
7	北条氏 は、幕府の最高職である「執権」に就き、将軍を補佐・監視する形で政治を行いました。		3 北条氏	☐
8	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。		4 防塁	☐
9	随筆 は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。		1 随筆	☐
10	主従関係 とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。		3 主従関係	☐
11	将軍が武士（御家人）の土地の支配を保障することや、新しい土地を与えることを「御恩」といいます。		2 御恩と奉公	☐
12	1206年のモンゴル帝国建国から、 13世紀 を通じてモンゴル軍は東西に遠征を行いました。		4 13世紀	☐
13	博多湾 は、元軍の主要な上陸地点となりました。		1 博多湾	☐
14	親が持つ領地を、男子だけでなく女子にも分けて相続させるのが一般的なルールでした。		3 分割相続	☐
15	マルコ・ポーロ はベネチアの商人・旅行家で、元のフビライ・ハーンに長く仕えました。		2 マルコ・ポーロ	☐

言えなかった用語ノート